

科目区分：人間科学科目

授業科目名	生体の構造（英語で読む分子生物学）					学期	曜日	校時
英語名	Structural and Molecular Biology (Molecular Biology Course: using English scientific journals)							
担当 教員名	松山 俊文	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	木曜日	3校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>分子生物学とは、生命現象を分子の言葉で記述する学問である。そこで生まれた数々の発見の多くは Nature, Cell, Science など一流誌と呼ばれる科学雑誌に掲載されてきた。この授業ではステップバイステップで少しずつ原著論文を解説しながら読み進め、論文を通して読む喜びを知ってもらおうと考えている。最初は高く見えたハードルが論文を読み通すことによって低くなることを実感して欲しい。この授業の最終的なねらいは自らが勝手に設定したハードルを取り払い自分の中の可能性を広げることで、以後の学習、実習につなげるところにある。</p> <p>もう一つのねらいは受験英語からの脱却である。目指すのは日本語として通じ難い逐語訳ではなく、自らのもつ日本語にあてはめていく能力の開発である。</p>								
テキスト、教材等								
教科書は用いず、授業計画に沿ったプリント資料を配付する。英和辞典等（電子辞書可）の持参は必要である。								
対象学生	成績評価の方法				教員研究室			
全学部 ただし、中学で習う生物程度の知識を有すること。	授業への参加状況、及び毎回の授業終了後に授業範囲から出題する英文和訳小テストの評価。							
授 業 計 画								
<p>第 1 回 オリエンテーション 第 2 回 基礎的背景 1 第 3 回 基礎的背景 2 第 4 回 論文概説 第 5 回 論文の輪読と解説 第 6 回 論文の輪読と解説 第 7 回 論文の輪読と解説 第 8 回 論文の輪読と解説 第 9 回 レポート作成（自習） 第 10 回 レポート作成（自習） 第 11 回 論文の輪読と解説 第 12 回 論文の輪読と解説 第 13 回 論文の輪読と解説 第 14 回 論文の輪読と解説 第 15 回 まとめ</p>								
<p>オフィスアワー（質問受付時間） 2 4 時間いつでも可。以下のアドレスにメールにて行うこと。 tosim@net.nagasaki-u.ac.jp</p>								